

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します。

## 西部病院を上手に利用していただくために

病院長 田口 芳雄



### その3 当院の救急機能について

今回は当院の救急機能について、ご説明させていただきます。

国は、本年4月の診療報酬の改定で「救急医療の再建・充実」を重点課題として掲げ、とりわけ救命救急センターについてその評価を高めることとしましたが、このことは我が国の救急医療が危機期に直面していることを示しているのです。

救急医療は病状の程度に応じて、次のように区分されております。

- ◇一次救急 比較的軽傷で、外来診療での対応が可能な初期の救急。
- ◇二次救急 入院治療や手術が必要な中等症及び重症の救急。
- ◇救命救急（三次救急）心筋梗塞、脳卒中、頭部の損傷などの重篤な救急。

横浜市での救急医療体制は、次のとおりです。

#### 一次救急

診療時間内は、かかりつけ医と病院の外来診療。

時間外は、市内3箇所の夜間急病センターと各区の休日急患診療所。

#### 二次救急

診療時間内は、救急指定病院・診療所。

時間外は、市内を3ブロックに分け、ブロックごとに、あらかじめ決められた毎日の担当病院（輪番病院）が対応しています。

また、これら救急医療機関の情報は、「横浜市救急医療情報センター 201-1199（いい救急）」で24時間、問い合わせることが出来ます。

#### 救命救急（三次救急）

市内で7つの病院が救命救急センターに指定され24時間365日、生命に直接影響のある重篤な症例に対応しています。

#### 当院は、救命救急(三次救急)を担っています

西部病院はこの救命救急センターの指定を受け、24時間体制で、高度で特殊・専門の医療が必要な重篤な患者様を受け入れ、治療に当たっております。

また、周産期救急についても、市内3箇所の基幹病院のひとつとして使命を担っております。

#### 救命救急は、救急車による搬送が原則

救命救急は時間との勝負になりますので、救急車の搬送が原則となります。近年、大都市では軽症者の救急車利用が急増し、救命対応が必要な重篤患者の病院搬送に支障を来すなどの問題が生じていることはご存知かと思えます。

#### 二次救急は、地域医療機関からの紹介を優先（原則）

前述のように、当院は市内全域の救命救急・周産期救急を担っておりますが、合間を縫って自主的に二次救急にも対応しています。原則は、救命救急に支障が生じないように、地域医療機関からの連絡または紹介状を頂いた患者様を優先して受け入れております。



（当院の救命救急センター）

外来初診の際、紹介状をお持ちでない患者様の中には、「当院にかかっているだけで救急時にみてもらえると思って・・・」と言われる方もおられますが、紹介状をお持ちいただくことは救急時にも当院で継続して、受診できることになります。

**西部病院の様子をおわかり頂けましたでしょうか？**

今回、「外来診療」「入院診療」「救急医療」と3回のシリーズでご案内をさせていただきました。

私ども医療に携わる者は当然のように理解していても、患者様には、病気・事故で初めて病院を利用される方もいらっしゃるわけで、昨今の医療、病院の状況をお知りになる機会は少ないと思います。

現在は、ひとつの病院だけではなく、地域の医療機関、訪問看護ステーション、介護施設等が互いに連携して患者さまをサポートする時代になりました。

西部病院は急性期病院であることをご理解頂いたうえで、上手に当院をご利用していただきますよう、あらためてよろしくお願いたします。



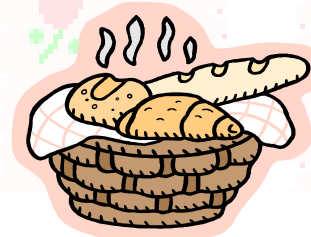
**【NST チームのご案内】**

栄養管理はすべての病気を治療する上で、もっとも基本的な医療のひとつです。

ふだんは何気なく食べているお食事も、体調を崩したり、病気になったりすると、十分な栄養を摂る事ができなくなってしまいます。

栄養状態が悪いと、病気の回復や、傷の治りが遅くなってしまいます。そこで、普段患者さまと関わる事の多い、医師・看護師だけではなく、管理栄養士・薬剤師・リハビリ部門などが、それぞれの専門性を発揮しながらチームを組んで、患者さまに合った最良の栄養プランを検討し提案しています。

これが NST (Nutrition Support Team) です。患者さまが、より良い毎日を過ごせますように、チーム一丸となって栄養サポートいたしますので、担当の医師、看護師にお気軽にご相談下さい!!!



NST 専門療法士 4 北師長 森 みさ子